

\~15~

DERWENT-ACC-NO: 2003-385720

DERWENT-WEEK: 200337

COPYRIGHT 2006 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: web site management system receives customer's
handwriting or word processor original document
through
mail and transmits e-mail to web site through
Internet

PATENT-ASSIGNEE: ARUFOMU NAGOYA KK[ARUFN]

PRIORITY-DATA: 2001JP-0274367 (September 11, 2001)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES MAIN-IPC		
JP 2003085301 A	March 20, 2003	N/A
006 G06F 017/60		

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP2003085301A	N/A	2001JP-0274367
September 11, 2001		

INT-CL (IPC): G06F017/60

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2003085301A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - An e-mail reception agent unit (15) receives a request of web site management agent from a customer (2). A web site work agent unit (12) receives the customer's handwriting or scanned image of word processor original document through electronic mail, and transmits the e-mail to the web site through the Internet (6).

USE - web site management agent system.

ADVANTAGE - Enables transmitting information to Internet and receiving mails through Internet without being linked to Internet.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the block diagram of the web site management agent system. (Drawing includes non-English language text).

customer 2

Internet 6

web site work agent unit 12

e-mail reception agent unit 15

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/4

TITLE-TERMS: WEB SITE MANAGEMENT SYSTEM RECEIVE CUSTOMER HANDWRITING WORD

PROCESSOR ORIGINAL DOCUMENT THROUGH MAIL TRANSMIT MAIL
WEB SITE THROUGH

DERWENT-CLASS: T01

EPI-CODES: T01-N01A2A;

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2003-308137

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-85301

(P2003-85301A)

(43) 公開日 平成15年3月20日 (2003.3.20)

(51) Int.Cl.
G 0 6 F 17/60

識別記号
1 3 2
Z E C

F I
G 0 6 F 17/60

ターマコード* (参考)

1 3 2
Z E C

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2001-274367(P2001-274367)

(22) 出願日 平成13年9月11日 (2001.9.11)

(71) 出願人 300067468

株式会社アルフォーム名古屋

愛知県名古屋市中区丸の内3丁目8番10号

(72) 発明者 平林 真

愛知県西春日井郡西春日大字九之坪字竹田

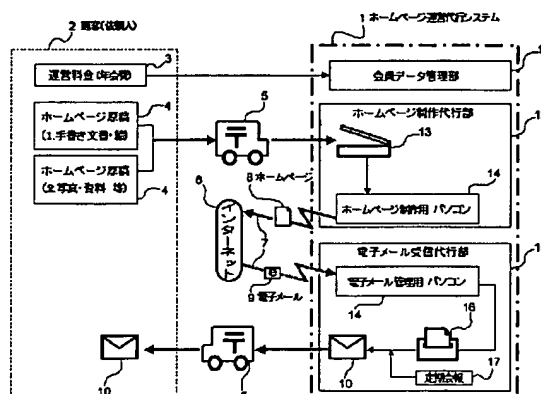
37-1 タウニーチチブ106号

(54) 【発明の名称】 ホームページ運営代行システム

(57) 【要約】

【課題】 パソコン等の情報機器を所有せず、あるいは情報機器を操作せず、手書きもしくはワープロ原稿そのままのイメージ画像によりホームページを掲載し、そのページに寄せられた電子メールの文面を入手する。

【解決手段】 以下のようなホームページ運営代行システムにより解決する。すなわち、手書きまたはワープロ書きの原稿を郵便で回収し、そのままスキャナーで画像ファイルに変換してホームページに編集およびアップロードすることを代行する一方、掲載した記事に寄せられる電子メールを受信してプリンターにより印字し、封緘して宛名人の居所へ郵送するか、もしくは宛名人指定のファクシミリに送信するシステム。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 顧客からホームページ運営代行の依頼を受け、代行費の回収とホームページの制作工程の管理を行う会員データ管理部と、顧客の手書きまたはワープロ原稿を郵便を介して受け取り、原稿のスキャン画像をホームページとしてインターネット上に掲載するホームページ制作代行部と、インターネットを介して顧客のホームページ宛てに送信されてくる電子メールを一括受信して紙面に印刷し顧客へ郵送する電子メール受信代行部を備えたことを特徴とするホームページ運営代行システム。

【請求項2】 前期のホームページ制作代行部では、顧客が送付した原稿をあらためてタイプし直したり校正すること無く、書かれた文章や写真の配置をそのまま画像に変換して掲載する方式が採用されていることを特徴とする請求項1および2記載のホームページ運営代行システム。

【請求項3】 前記顧客からの原稿の受け取り、または電子メール印刷文書の送付には、顧客からの要請に応じてファックスも利用可能であることを特徴とする請求項1または2記載のホームページ運営代行システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明が属する技術分野】本発明は、ホームページ開設の依頼のあった顧客から、手書きまたはワープロ文書あるいはプリント写真のまま原稿を郵送で回収することにより、顧客自らがインターネットに接続すること無しに想定通りのホームページを掲載し運営できるホームページ運営代行システムに関する。

【0002】

【従来の技術】ホームページの開設と運営に際して、従来はパソコンや通信の知識を習得した者が直接原稿をタイプし、編集ソフトウェアを介してインターネット上に掲載するのが一般的である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、ホームページ原稿の入力には多くの場合キーボード操作が必要なことから制作技術の習熟には時間がかかり、また、少なくとも掲載者自身の居所に通信回線およびパソコンなどの情報通信機器が無いと、ホームページに宛てて外部から送信される電子メールの受け取りにも支障が生じ易かった。もとより情報機器を所有する人のみが情報を発信したい訳ではないにもかかわらず、本人が一度たりともディスプレイの前に座らずして自らのホームページを掲載する方法は、公知されるビジネスとして存在しなかった。

【0004】また、このようなホームページ運営や電子メールの送受信においては、通信の専門技術を持たない者を標的にした通信犯罪も増加傾向にあり、インターネット利用者は悪意の第三者から金銭的あるいは精神的な

損害を被る場合があった。

【0005】本発明は、上記のような問題を解決するためになされたもので、特定期間あるいは特定原稿量のホームページ運営と、その間の電子メール受信とを顧客の依頼を受け代行し、顧客からの手書きまたはワープロ文書の入稿や電子メールの受信内容の転送に郵便もしくはファックスを用い、顧客自らがパソコンなど情報通信機器を操りインターネットへ接続しなくとも済むようにすることを目的とする。さらにこの方法によれば、出来上がるホームページは原稿をそのまま画像化したものとなり、肉筆の文章をはじめとして、制作依頼者の情感や意図が即時的に正確に伝えられる。

【0006】また本発明は、インターネットの匿名性を悪用した第三者によるホームページ掲載記事の無断改変や誹謗中傷を意図した電子メールから、それらの予防技術に未習熟な顧客を保護することも目的とする。

【0007】さらに、ネット依存症などの精神的疾病により社会不適応をきたした者が本発明の顧客となれば、本案はその顧客に対し、インターネット上の仮想現実から徐々に実社会への復帰をはかるリハビリ装置としての役割を提供することができる。

【0008】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本発明に係るホームページ運営代行システムは、顧客からホームページ運営代行の依頼を受け、代行料金の回収とホームページの制作工程の管理を行う会員データ管理部と、顧客の手書きまたはワープロ原稿を郵便を介して受け取り、原稿のスキャン画像をホームページとしてインターネット上に掲載するホームページ制作代行部と、インターネットを介して顧客（あるいは顧客のホームページ）宛てに送信されてくる電子メールを一括受信して紙面に印字し、顧客へ郵送する電子メール受信代行部を備えたことを特徴とする。

【0009】なお、前記の顧客からの原稿回収や受信メールの転送には、顧客からの要請に応じてファックスを用いることも可能である。

【0010】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について、図面を参照して説明する。図1に、本発明に係るホームページ運営代行システムの一実施形態を示す。図1において、1は本発明に係るホームページ運営代行システム、2は運営代行料金3を支払い郵便（またはファックス）5を介してホームページ原稿4の送付や電子メールの受信文等が同封された封書10を受け取る顧客、11は顧客2から運営代行料金（会員登録費に相当）を回収し、顧客2の希望する内容でホームページを制作し運営するよう1ホームページ運営代行システムを統括する会員データ管理部、12は顧客2から郵送された原稿4をスキャナー13を用いて画像ファイルに変換し、パソコン14から通信回線7を介してインターネット6上に

ホームページ8を掲載（アップロード）するホームページ制作代行部、15はインターネット6を閲覧する第三者から顧客2（あるいは顧客2のホームページ8）宛てに送信された電子メール9を、通信回線7を通じパソコン14で受信したのちプリンター16で書面に印刷し、ときには顧客2へのサービス情報を記した定期刊行物（会報）17等も添付した封書10として顧客2に郵送（または封書にせず直接ファックス）する電子メール受信代行部である。

【0011】次に、その処理業務について、図2～4のフローチャートを参照して説明する。本発明のホームページ運営代行システムを運用するには、まず新聞や雑誌広告、チラシやカタログといった広告媒体、あるいはインターネット上の本システム主催サイトの案内文に、顧客が代行運営を依頼する場合の申し込みフォームとその送付先住所やファックス番号を掲載しておき、ハガキまたはファックスを介して自由に申し込み手続きを行えるようにしておく。また、顧客が本システム主催サイトから申し込む場合は、画面上の申し込みフォームに所要事項を入力して送信ボタンを押すと、自動的に主催者の元へ同内容の電子メールが発信される仕組みも設けておく。なお、説明を分かり易くするために、以下の業務説明においては、広告チラシなどを見た顧客が所要事項をハガキに記入し、本システムの主催者に宛てて郵送で申し込んできた場合を例に採って説明する。

【0012】いま、或る顧客が広告チラシなどを見て、顧客自身のホームページの運営代行を依頼するハガキを郵送すると、顧客データ管理部（図2）ではこのハガキを受け取り（図2のステップS1）、予め広告媒体に案内してあった金融機関の口座宛て、同顧客から代行費が振り込まれるのを確認する（ステップS2）。着金を確認後ただちに、顧客が申し込んだ住所宛て、インターネット上に掲載するホームページの規格に合わせた定型原稿用紙を郵送する（ステップS3）。この原稿用紙は文章の縦書き横書きを問わず兼用できる体裁になっており、もし顧客が手書き原稿以外の写真や絵などを添付する際は、その定型原稿用紙に直接写真や絵を貼り付けてもらう。また、顧客がワープロなどの事務機器で原稿を打つ場合も、文章を打出した用紙をこの定型原稿用紙の規格枠内に切り貼りしてもらう。

【0013】こうして顧客が執筆し編集した定型原稿用紙は、ステップS4においてホームページ制作代行部（図3）に郵送される。ここで原稿用紙はスキャナーを用いて画像データに変換され（ステップS5）、パソコン内のホームページ編集ソフトに取り込まれる。そのうち、編集ソフトを介して背景や目次などを加えたホームページ閲覧用のファイルが完成すると（ステップS6）、これらの完成ファイルは通信回線を通じてインターネット上に繋がれたサーバーに転送される（ステップS7）。最後にホームページ制作代行部は、ステップS

7で転送した内容がホームページとして正しく表示されるかアクセス試験を行い（ステップS8）、画面動作に問題が無ければ顧客にホームページ掲載完了の通知書を送付する（ステップS9）。なお、通知書にはステップS8で掲載を確認した際の表示画面が（別の用紙に印字され）添付されるものである。以上のステップS4～S9は、新規記事の投稿を受けて新規ホームページを制作する場合も、既に掲載中の記事を改変もしくは追加する依頼原稿から既存ホームページを更新する場合も、同様の手順で繰り返される。なお、既に掲載中の記事の一部又は全部を削除する依頼については、顧客がステップS9で添付されてきた表示画面印刷の、抹消したい部分にバツ印を加筆してホームページ制作代行部に返送する（ステップS10）ことにより、依頼された内容の削除が行われるものである（ステップS11）。

【0014】上記のようにして顧客がホームページを開設すれば、インターネットを介してこれにアクセスした閲覧者が、ページの執筆者である顧客に対して意見や情報を伝えたい場合もある。ホームページ本来の幅広い情報交換や意見交流を実現するために、本代行システムではこのような外部からの電子メールを顧客に代わって受信し、宛先である顧客に転送する機能も併せ持つものであり、これを行うのが電子メール受信代行部（図4）である。予めホームページ上には顧客の執筆した記事の他に、ページ執筆者への連絡に関する規定（住所氏名の記載、商用目的の禁止など）を明記し、また顧客には当該規定を受け容れるよう、申し込み際（図2のステップS1）に承認を得ておく。ここで顧客のホームページを読んだ或る第三者が、ページに掲載されたアドレスに宛てて顧客の関心事に関する情報を電子メールで発信した場合を例に採って説明する。電子メールはまず電子メール受信代行部にて、パソコン内に一括受信（ダウンロード）される（図4のステップS12）。その後ただちに悪戯目的のものでないかウイルスチェックを行い、前述の告知規定に準拠したものかを調査し、安全と認められれば（ステップS13）、プリンターよりその全文を印刷する（ステップS14）。次に郵送用の封筒を用意し、顧客データ管理部の登録台帳により、電子メールの宛先となった顧客の住所氏名を宛名書きし（ステップS15）、ステップS14で印刷した用紙を封入する。このとき、本代行システム主催者が利用者（顧客）に対して庶務事項などを記した会報を定期発行している場合などは、その刊行物も同封（ステップS16）したのちに、封筒は封緘され郵便窓口より発送が行われるものである（ステップS17）。

【0015】またステップS17は、事前の顧客の依頼によっては、ファックスによる送信が行われる場合もある。

【0016】

【発明の効果】以上説明したように、本発明に係るホー

5

ムページ運営代行システムによるときは、顧客がパソコンなど情報通信機器を用いてインターネットに接続することなく、想定どおりの体裁で自分のホームページを開設し運営できるようにしたので、以下のような種々の優れた効果を奏することができる。

(1) 顧客は、インターネットに接続する機器や時間を有しなくとも、インターネット上から情報を発信することができる。

(2) 顧客は、ホームページ制作の技術無しに、直筆原稿や写真などをウェブ画面上に配置し掲載することができ

(3) 顧客は、通信ソフトの操作をすることなく、インターネット上から自分に宛てられた電子メールを郵便あるいはファックスで受け取ることができる。

(4) 顧客は、悪意の電子メールによる物理的あるいは精神的な被害を未然に防ぐことができる。

(5) 代行システム主催者は、顧客の思い通りのイメージをホームページ上に展開するために、取材や試作のための労力と、校正に関わる交渉時間を節約できる。

(6) ネット依存症の治療のために情報通信機器からの隔離を望む顧客が利用した場合には、禁断症状を和らげる効果が期待できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るホームページ運営代行システムの1実施形態のブロック図である。

6

【図2】前期実施形態のうち、会員データ管理部の処理業務のフローチャートである。

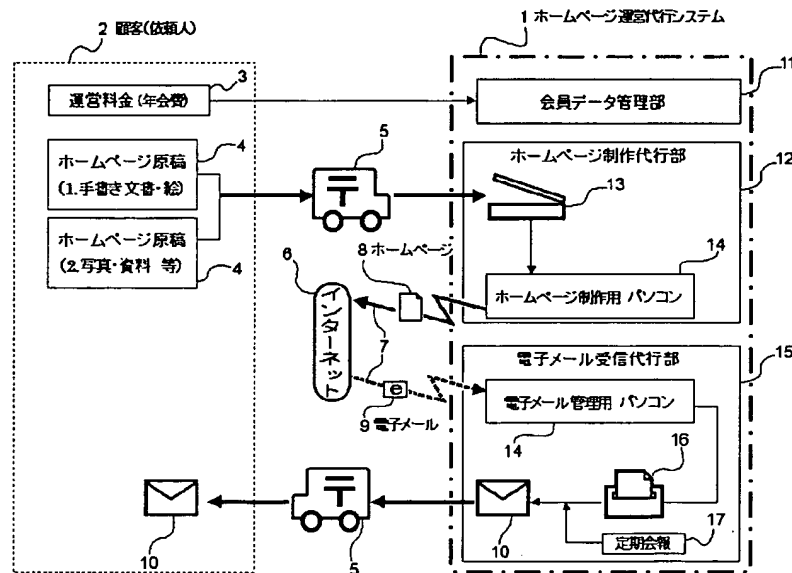
【図3】前期実施形態のうち、ホームページ制作代行部の処理業務のフローチャートである。

【図4】前期実施形態のうち、電子メール受信代行部の処理業務のフローチャートである。

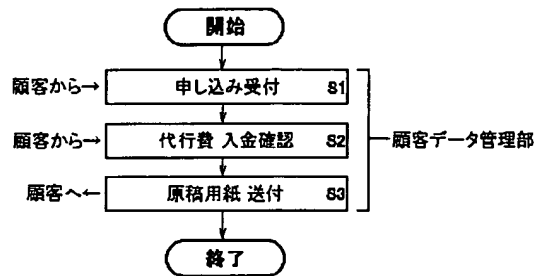
【符号の説明】

- 1 ホームページ運営代行システム
- 2 顧客
- 3 運営代行料金
- 4 ホームページ原稿
- 5 郵便（またはファックス）
- 6 インターネット
- 7 通信回線
- 8 ホームページ
- 9 電子メール
- 10 封書
- 11 会員データ管理部
- 12 ホームページ制作代行部
- 13 スキャナー
- 14 パソコン
- 15 電子メール受信代行部
- 16 プリンター
- 17 定期刊行物（会報）

【図1】

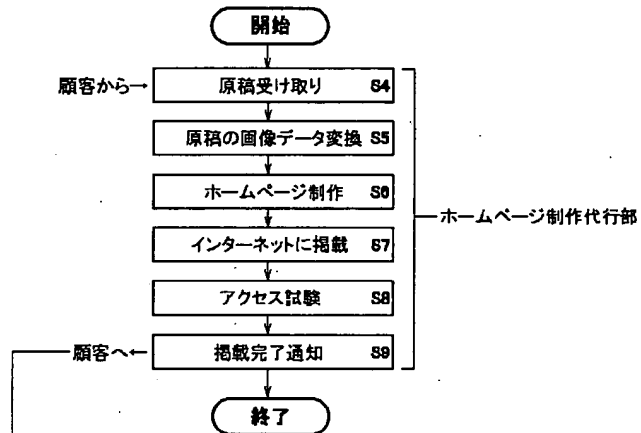


【図2】

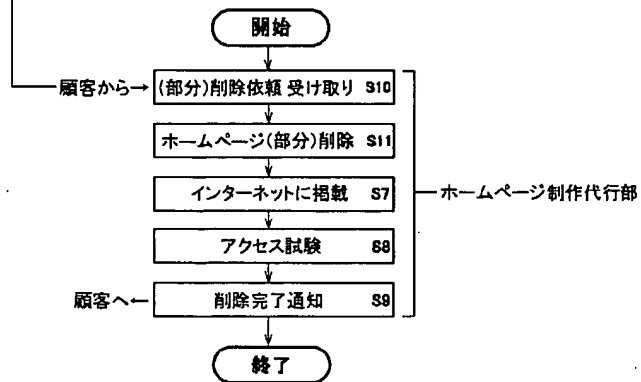


【図3】

【図3-I:新規または更新の場合】



【図3-II:削除の場合】



【図4】

